

さあ、……これが僕の劇場だ。カーテン、袖が一つ、袖がもう一つ——その先は、がらんどうだ。書割りなんか、一つもない。
いきなりパッと、湖と地平線の眺めが開けるんだ。幕あきは、きっかり八時半。ちょうど月の出を目がけてやる。



Чайка

Антон Павлович
Режиссер: М. Никура

Чехов

В ролях: Сатоко Абэ, Дай Исиды, Коудзи Огавара, Сиэ Кубота, Саки Коуно, Йохэи Кобаяси



かもめ

作 / Антон・Чехов

翻訳 / 神西清

演出 / 三浦基

出演 / 安部聡子

石田大

小河原康二

窪田史恵

河野早紀

小林洋平

Вот тебе и театр.

Занавес, потом первая кулиса, потом вторая и дальше пустое пространство.

Декораций никаких. Открывается вид прямо на озеро и на горизонт.

Поднимем занавес ровно в половине девятого, когда взойдет луна.

地点

2015.5.9 |sat| - 11 |mon|

愛知県芸術劇場 小ホール

(愛知芸術文化センター B1)

邂逅、 チャーホフ、 四大戯曲。

かもめ

作/アントン・チャーホフ

翻訳/神西清

演出/三浦基

出演/安部聡子

石田大

小河原康二

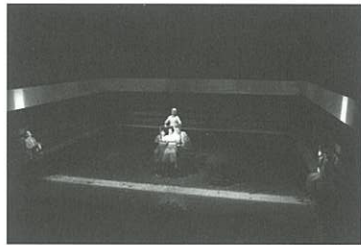
窪田史恵

河野早紀

小林洋平



[かもめ] (2014) photo: Eugeniya Seldechinogo



[桜の園] (2008) photo: Tsukasa Aoki



[三人姉妹] (2008) photo: Tsukasa Aoki



[ワーニャ伯父さん] (2014) photo: Hisaki Matsumoto

地点初の愛知公演！

演出家・三浦基率いる地点が、人気のチャーホフシリーズから

『かもめ』を持って愛知に初めてやってきます。

チャーホフの母国ロシアでも絶賛された決定版。どうぞお見逃しなく！

大女優のアルカージナは恋人で人気作家のトリゴーリンを伴って湖畔の屋敷に戻ってきている。革新的な作家になることを志す息子のトレープレフ、女優を夢見るその恋人ニーナ。若いふたりによる劇が仮設舞台上で上演される。トレープレフに片思いするマーシャ、マーシャに求婚しているメドヴェージェンコの姿もそこにはある――。

作家や女優が登場し、劇中劇が上演されるというメタ構造を持つ『かもめ』は、ドキュメント性の高い作品でもあります。開場中のティーサービスとニーナによる劇の解説も見どころの一つ。「地点語」とも言われる音楽的なせりふの世界と、俳優の力みなき舞台をご堪能ください。

三浦基は非言語の骨組みから言葉を「振り落とし」、骨に残った必要最小限のものだけを使って作品をつくった、と言ってもよいだろう。地点の『かもめ』は、異なる文化の担い手たちによってまったく未知の言語で上演されたにもかかわらず、感情の面でも知性の面でも非常に強い印象を与えてくれる。抑制されていると同時に情熱的であり、極めて高度な俳優術と簡素さによって、チャーホフ作品の持つ意味が、過去と今という時代の違いなどにとらわれることなく、現代の観客に手渡されている。(2014年9月に行われた『かもめ』ロシア公演時劇評)

――イリーナ・ペカルスカヤ(コストロドラマ小劇場学芸担当) ロシア演劇人同盟ウェブサイト「STARTUP」より一部抜粋

地点

演出家・三浦基が代表をつとめる。京都を拠点に、国内外で活動を展開。2011年、チャーホフ『ワーニャ伯父さん』『桜の園』をモスクワのメイエルホリド・センターで上演。また、2012年にはロンドンのグローブ座からの招聘でシェイクスピア『コリオレイナス』の上演を成功させた。横浜にあるKAAT神奈川芸術劇場では、開館以来、継続的な共同制作を行っている。2013年、本拠地である京都にアトリエ「アンダースロー」をオープン。

三浦基

1973年生まれ。1999年より2年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在する。2007年よりチャーホフの四大戯曲をすべて舞台化する〈地点によるチャーホフ四大戯曲連続上演〉に取り組み、第三作『桜の園』にて文化庁芸術祭新人賞受賞。ほか、2011年度京都市芸術新人賞など受賞多数。著書に「おもしろければOKか? 現代演劇考」(五柳書院)。

Dates & Tickets

■ 日時

2015年5月9日(土)、10日(日)、11日(月)

	15:00	19:30
9日(土)		●
10日(日)	●	
11日(月)		●

*開場は開演の30分前

*未就学のお子様のご入場はお断りしております。

Staff

舞台美術	杉山至
衣裳	堂本教子
音響	堂岡俊弘
照明	藤原康弘
舞台監督	世古口善徳(愛知県芸術劇場)
宣伝美術	松本久木
制作	小森あや・田嶋結菜

■ 料金(全席自由/入場整理番号付き)

一般 前売3,000円/当日3,500円

学生 前売2,000円/当日2,500円

■ チケット取扱

・地点 <http://www.chiten.org/> TEL.075-888-5343

・愛知芸術文化センター内プレイガイド(B2)

営業時間 10:00~19:00(月曜定休、土日祝は18:00まで)
TEL.052-972-0430

・チケットぴあ <http://t.pia.jp/>

TEL.0570-02-9999 [Pコード: 443-138]

■ お問い合わせ

合同会社地点 TEL.075-888-5343 info@chiten.org

■ 主催

合同会社地点/愛知県芸術劇場

Venue



■ 会場 愛知県芸術劇場 小ホール
(愛知芸術文化センター B1)
〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2
TEL.052-971-5511

地下鉄東山線/名城線「栄」駅下車徒歩5分(オアシス21地下連絡通路経由または2F連絡通路経由)

『三人姉妹』3月9日-22日・会場: KAAT神奈川芸術劇場(中スタジオ)(神奈川)、『ワーニャ伯父さん』3月28日-30日/6月20日-23日・会場: アンダースロー(京都)

『かもめ』5月2日-4日/8月29日-9月1日・会場: アンダースロー(京都)、『桜の園』9月10日-13日・会場: アンダースロー(京都)